

やんばるきせつごよみ季節暦 通信

2023年3月号

一般社団法人やんばるビジョンは、気候変動によるやんばるの生物多様性への影響を把握する基礎情報を得るために、2021年度より独立行政法人環境再生保全機構地球環境基金の助成を受けて、やんばるフェノロジー（生物季節暦）調査をしています。

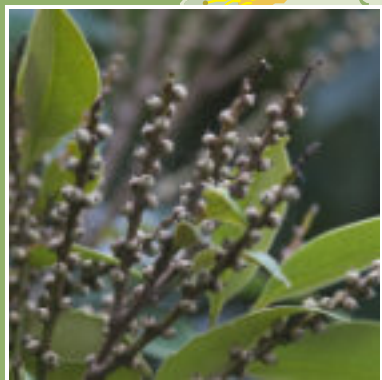
2022年度は「やんばるにおける地域参加型フェノロジー調査の市民調査力と気候変動アクションの取れる人材の育成」と題し、継続してフェノロジー調査と人材育成をおこないました。

調査員募集中!

「フェノロジー調査を重ねることで、これまで見えていなかった動植物が目に入るようになりました。自然を見る解像度が以前より上がったように感じます」調査員 崎浜さん

やんばるビジョンでは、市民調査員を募集しています。やんばるの自然について知りたい、調べたい、学びたいと思ったら、当法人にお問い合わせください。動植物に詳しくなくても大丈夫。季節の変化を感じながら、一緒にやんばるの自然を学んでいきませんか？

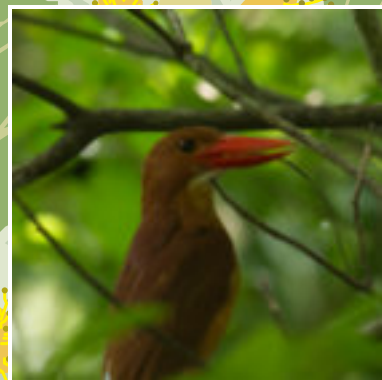
やんばるには、さまざまな動植物が生息しています。フェノロジー調査では、調査コースを週1回昼と夜に車でゆっくり走行しながら、動物の声や音、見られた動植物のチェックをしていき、季節による変化等を記録しています。また、季節ごとに勉強会を実施し、その季節の注目すべき動植物や、調査員が調査を通して気づいたこと、感じたこと、疑問等々を共有し、一緒に考え学ぶ時間をつくっています。



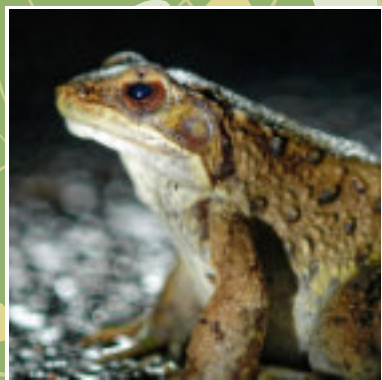
イタジイ：やんばるの森の6割程がイタジイだといわれており、開花の盛りになると集落でもその独特の香りを感じます。



イジュ：昔は梅雨の頃に開花していたようですが、最近の調査や感覚からするとそれよりも早い時期に開花しているようです。



リュウキュウアカショウビン：5月中旬頃に飛来し、キョロキョロという特徴的な声で鳴きます。



ホルストガエル：比較的集落の近くまでいて、犬のような大きな声で鳴きます。



1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
イタジイ	● 芽吹き	● つぼみ・開花	● 花終わり			● 実が目立つ			● 実が落ち始める		
イジュ	● 芽吹き		● つぼみ ● 開花		● 実が目立つ ● 花終わり						
リュウキュウアカショウビン				● 飛来（鳴き声を初確認）				● 終認			
ホルストガエル			● 鳴き始め								
● ムーチャーピーサー	● 旧正月 旧暦1月1日	● 十六日祭 旧暦1月16日	● ニングウチカジマーイ	● ウリズン	● 清明祭 旧暦3月	● 浜下り 旧暦3月3日	● スーマンボースー ● カーチベー	● シヌグ 旧暦七月女の日 ● ウンジャミ 旧暦七月女の日	● ミーニシ		

上記の季節暦は2022年1月～12月の調査結果です。

